

日本をキリストへ 協力

1

「日本をキリストへ」
伝道団体連絡協議会

〒101 東京都千代田区神田駿河台2-1
OSCCビル日本福音クルセード気付
TEL 03-295-4414

「日本をキリストへ」の協力を

会長 本田弘慈



奇しい主のお導きにより、この度、日本にある各種伝道団体の代表が一堂に会し、共に祈り、協議しました結果、ここに「日本をキリストへ」の目標のもとに「伝道団体連絡協議会」が発足いたしました。参加団体は三九を数えています。どの団体も日本において今日まで尊く用いられてこられた団体であり、日本の伝道に大きな貢献を重ねてこられた団体です。

ペンテコステの日に聖霊が降りました時、各国、各地にあった人々が、そこで一つになり、共に主を崇め、共に熱い交わりをもつことになりました。

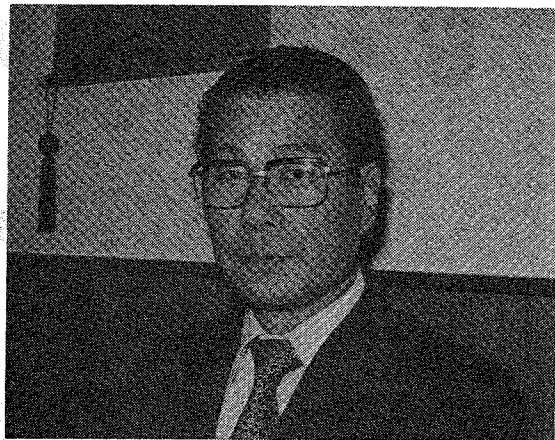
今回の協議会の結成は人為によらず、全く主のお導き、御霊のお働きによるものと確信しています。

これは、日本の伝道の歴史に新しい一頁を加えたものであり、日本のキリスト教会とその伝道への飛躍的奉仕の第一歩であると信じるものであります。

聖書は、「あなたがたは霊を一つにしてしっかりと立ち、心を一つにして福音の信仰のために、ともに奮闘しており」（ピリピ一章27節抄）と、一致と協力をすすめています。私たちはこの連絡協議会においてお互いの働きを十分に理解し合い、互いに愛のうちに一致し、共に祈り、「日本をキリストへ」の使命のもとにその働きの前進と発展を期すものであります。

なにとぞ、各団体におかれましては、一層のご自重と共に、参加団体のためにご加禱くださり、共に励まし合い、一層のご前進をとお願ひ申し上げます。次第でございます。

本会の結成と共に、連絡紙発刊にあたり、心よりの感謝と希望を申し上げ、御祝福をお祈り申し上げます。



伝道団体連絡協議会の 創立に際し

岡村 又 男
日本福音同盟 総務

真の協力は目に見える組織や人間的なつながりから出発するのではなく、聖書が権威ある信頼すべき基盤であるということ。聖書信仰の基盤の上にそれぞれの使命と働きを確認し、交わりと協力を深めていく時に、目的が果されていくと信じます。

第二 働きの母体

各種伝道団体の働きは、根本的には教会の働きではないでしょうか。超教派と言いますが、決して教会を超えるということではありません。各種伝道団体の働きは、教会の腕、足、手、枝としての役割りがあるのではないのでしょうか。

第三 働きの目的

その働きが教会の業のひとつであるならば、教会に仕え、教会を立て上げるための業ということができるとは思いません。ひとりの魂を導き、キリストの教会に属させ、そこにおいて成長し奉仕するようにしていく、これが伝道の目的です。ラジオや文書を用いても、ここに至るようにすることが究極の目的です。

しめくりりに、第一回日本伝道会議の分科会で出た「教会と伝道団体の悲劇的状况、相互不信」に触れておきたいと思えます。

ある団体は外国の方法と外国のお金で働きを始め、日本の教会が混乱させられたというのです。誤解しないでいただきたいのですが、これは団体または教会が反省しなければならぬ点であったと思えます。教会側で反省しなければならぬことは、伝道団体は教会の働きのひとつですのに、積極的に取り入れ、利用してきたでしょうか。専門分野に携わる伝道団体の働き人を教会が育ててきたでしょうか。マイ・チャーチ主義、マイ教団主義になっていなかったでしょうか。

伝道団体側としては、自分たちの働きだけに関心を持ち過ぎて、教会を自分たちの働きの下請け機関ぐらいにしか感じていないのではないだろうか。これは主客転倒です。伝道団体が教会を無力のように見て、援助してやろうと思いがっているのではないだろうか。

このような反省の声をふまえながら、福音の信仰のために、教会と伝道団体が共同の戦いを進めていかなければならないと思えます。

戦後四十年たち、日本の教会も成長、成熟し、協力ということがこれからなされていく段階にきているのではないかと思います。

一九七四年の第一回日本伝道会議において、これからの協力と題して私が発題いたしました。各種伝道団体が教会との関わりを明確にしながら協力するためには交通整理が必要であると申し上げました。その意味で、伝道団体連絡協議会の創立は神様の摂理の中にあるのではないかと痛切に感じています。

一九八四年に出版された「日本の福音派」という本の中に、福音派の教会が成長してきた幾つかの理由が書いてあります。第一は聖書信仰に立って、十字架と復活の福音を単純率直に宣べ伝えてきたこと。第二は伝統にとらわれないで、若い世代に交代し、積極的にいろいろな方法を取り入れたこと。第三は伝道団体の働きと協力し活用してきたこと。

そこで協力していく上で重要な三つのことを申し上げたいと思えます。

第一 働きの基礎

伝道団体連絡協議会

加盟団体名簿

“We're Reaching Out”

- いのちのことは社へ文書▽ケネス・マクビテイ
- 101 東京都新宿区信濃町六 ④ 35319345
- F E B C 日本支社へ視聴覚▽小林八郎
- 101 東京都千代田区神田駿河台二ノ一 O S C C 内 ④ 29110364
- お茶の水学生キリスト教会館へ青少年▽本田弘慈
- 101 東京都千代田区神田駿河台二ノ一 ④ 29213001
- 教会インフォメーション・サービスへ伝道▽三森春生
- 101 東京都千代田区神田駿河台二ノ一 O S C C 内
- キリスト再臨待望同志会へ伝道▽
- 165 東京都中野区野方一ノ五五ノ一 天門教会内 ④ 38517491
- クリスチャン A V センターへ視聴覚▽菊池良市
- 101 東京都千代田区神田駿河台二ノ一 O S C C 内 ④ 29517241
- クリスチャン新聞へ文書▽守部雅喜
- 101 東京都千代田区神田駿河台二ノ一 O S C C 内 ④ 29118524
- クリスチャン文書伝道団へ文書▽ピーター・ホーン
- 203 東久留米市本町四ノ一三ノ三四 ④ 042417111527
- 高校生聖書伝道協会へ青少年▽大竹一行
- 150 東京都渋谷区渋谷二ノ二二ノ一六 ④ 40915072
- 国際飢餓対策機構日本協会へ社会福祉▽堀内 顕
- 160 東京都新宿区新宿七ノ二六ノ二四ノ三〇四 ④ 20310635
- 国際ナビゲーターへ青少年▽小川吾朗
- 101 東京都千代田区神田駿河台二ノ一 O S C C 内 ④ 29510146
- 国鉄福音同志会へ伝道▽細井貞男
- 569 高槻市川西町二ノ七ノ二一 ④ 072618115069
- 全国家庭文書伝道協会へ文書▽ケネス・マクビテイ
- 101 東京都千代田区神田駿河台二ノ一 O S C C 内 ④ 23310921
- 総動員伝道委員会へ伝道▽羽鳥 明
- 101 東京都千代田区神田駿河台二ノ一 O S C C 内 ④ 29115035
- 太平洋放送協会へ視聴覚▽羽鳥 明
- 101 東京都千代田区神田駿河台二ノ一 O S C C 内 ④ 29514921
- 朝禱会全国連合会へ伝道▽神田吉彦
- 101 東京都千代田区神田駿河台三ノ一ノ一 神田方 ④ 29111531
- 東京シヤロームへ視聴覚▽芦屋忠重
- 101 東京都千代田区神田駿河台二ノ一 O S C C 内 ④ 29512121
- 東洋ローア・キリスト教会へ伝道▽鷺尾 繁
- 350-04 埼玉県入間郡毛呂山町大字市場一三三ノ一 ④ 049219416012
- 日本キリスト宣教会へ伝道▽中島 彰
- 669-42 兵庫泉氷上郡春日町棚原二〇五七 ④ 079571510212
- 日本キリスト伝道会へ伝道▽島村亀鶴
- 132 東京都江戸川区平井四ノ九ノ五 ④ 68310817
- 日本キャンパス・クルセードへ青少年▽グレッジ・フアロー
- 101 東京都千代田区神田駿河台二ノ一 O S C C 内 ④ 29210791
- 日本聖書刊行会へ文書▽岡村又男
- 101 東京都千代田区神田駿河台二ノ一 O S C C 内 ④ 29112595
- 日本聖書協会へ文書▽岸 千年
- 104 東京都中央区銀座四ノ五ノ一 ④ 56711986
- 日本伝道者協力会へ伝道▽本田弘慈
- 101 東京都千代田区神田駿河台二ノ一 O S C C 内 ④ 29514414
- 日本福音クルセード内 ④ 29514414

- 日本日曜学校助成協会ハ青少年V安藤仲市
- 101 東京都千代田区神田駿河台二ノ一 O S C C 内 電 2 3 3 1 2 6 8 1
- 日本福音クルセードハ伝道V本田弘慈
- 101 東京都千代田区神田駿河台二ノ一 O S C C 内 電 2 9 5 1 4 4 1 4
- 日本ミッシェンハ伝道Vコルネリオ・ファベイ
- 583 羽曳野市はびきの一ノ六ノ一 電 0 7 2 9 1 3 9 1 6 6 0 0
- 日本リバイバル・クルセードハ伝道V滝元 明
- 441-13 新城市富沢四〇七ノ一 電 0 5 3 6 2 1 3 1 3 0 3 2
- パラビジョンハ視聴覚V柳沢 清
- 101 東京都千代田区神田駿河台二ノ一 O S C C 内 電 2 9 4 1 9 0 9 5
- ビリー・グラハム伝道協会ハ伝道Vケネス・マクピティ
- 160 東京都新宿区左門町二〇 奥浦ビル内 電 3 5 9 1 3 8 6 7
- P T L クラブ・イン・ジャパンハ視聴覚Vロバート・フラハン
- 170 東京都豊島区駒込三ノ一五ノ二〇 電 9 4 0 1 3 9 2 2
- 訪問伝道全国連合会ハ伝道V中路嶋雄
- 160 東京都新宿区歌舞伎町二ノ一九ノ一一 新宿西教会内 電 2 0 0 1 5 5 5 9
- マザース・カウニング・センタールハ伝道V鈴木留蔵
- 101 東京都千代田区神田駿河台二ノ一 O S C C 内 電 2 9 1 1 9 0 3 5
- ミクナム・レコードハ視聴覚V高叡華
- 160 東京都新宿区片町一 ダイアビル 電 3 5 8 1 0 8 9 1
- ライフ企画ハ伝道Vケネス・マクピティ
- 160 東京都新宿区信濃町六 W L P 内 電 3 5 3 1 9 3 4 5
- リビング・バイブル・ジャパンハ文書Vケネス・マクピティ
- 160 東京都新宿区信濃町六 W L P 内 電 3 5 3 1 9 3 4 5
- ルーテル・マスメディア研究所ハ視聴覚Vジョージ・オルソン
- 162 東京都新宿区市谷砂土原町一ノ一 電 2 6 8 1 6 2 2 7
- レックス・ハンバード世界宣教団ハ視聴覚V桜井 剛
- 171 東京都豊島区南池袋二ノ二七ノ四 カティビル内 電 9 8 8 1 3 0 1 5
- ユース・ウイズ・ア・ミッシェンハ青少年Vトピ・キビマキ
- 横浜市神奈川区菅田町一七四三 電 0 4 5 1 4 7 1 1 6 7 6 6

伝道団体研修懇談会

日程：1985年11月14日(木)～15日(金)
会場：箱根小涌園

交わり、研修、懇談の三つの目的をもって一泊研修懇談会を上記のように開催することになりました。

一四日の午後一時に受付、開会講演は本田弘慈会長がいたします。夜は証しと祈りの時といたします。

一五日は各伝道分野ごとに分科会、懇談の時をもち、全体報告会、昼食をもって散会の予定です。

各団体から何人参加されても結構です。一応五〇名の参加を見込んでいます。会費は一人一万二千円です。

ご出席くださる方は、事務局に早目にご連絡いただければ幸いです。

- 発行日 一九八五年十月一日
- 発行者 本田弘慈
- 編集者 姫井雅夫